

# 「回帰直線スクリーニング」

JP法研究会

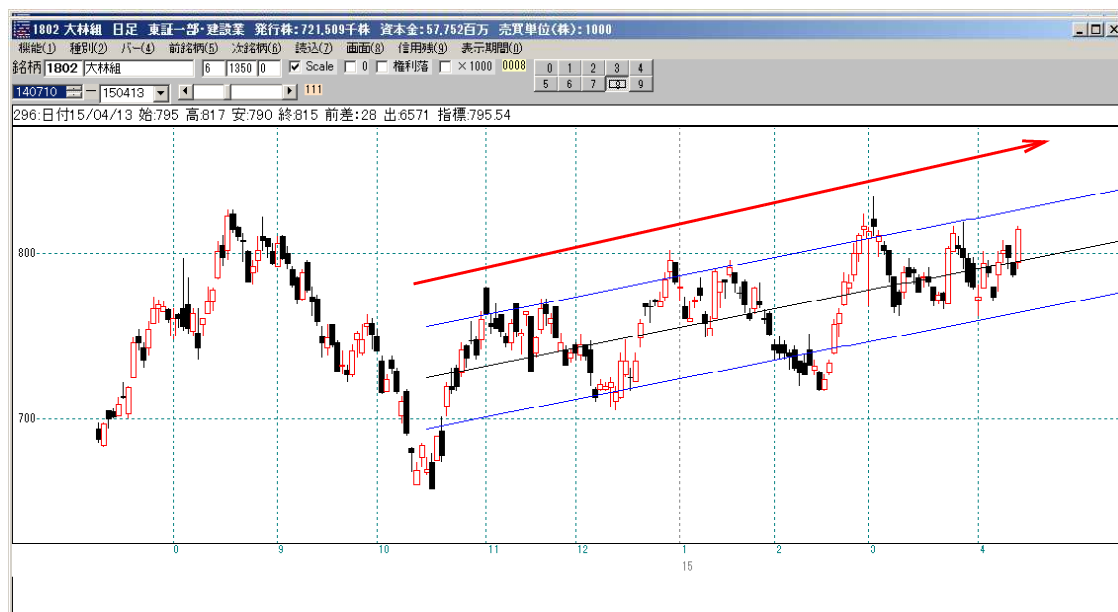
分析チャートー指標 1 4 2 番には回帰直線が登録してあります。

これは、チャートのトレンドを直線で表現したものです。

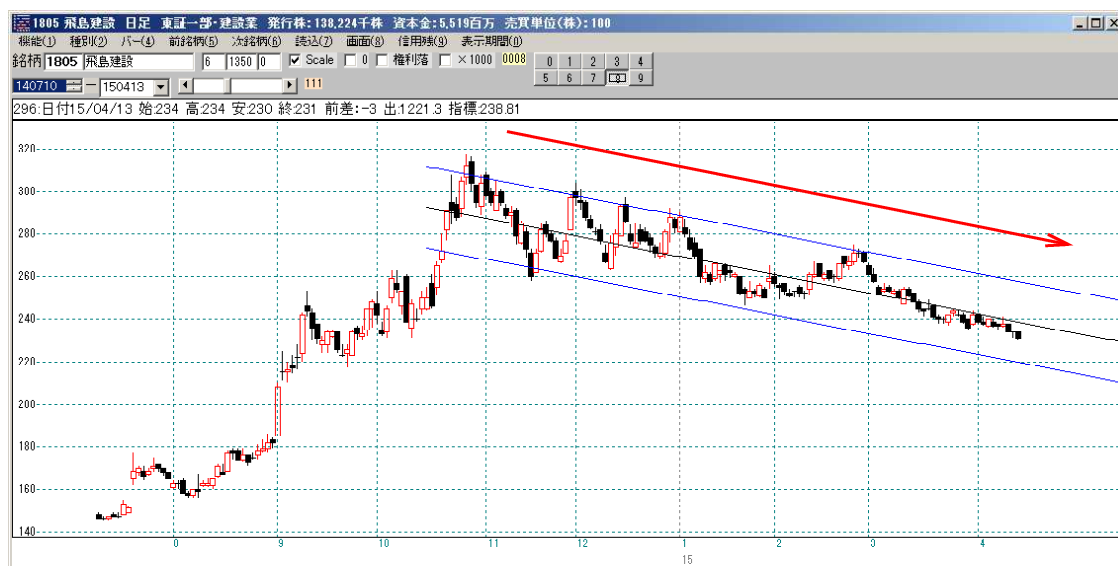
右肩上がりなら、上昇傾向、右肩下がりなら、下降傾向といった具合です。

毎日の終値の点の散らばり具合をある意味、無理矢理直線化したものともいえます。

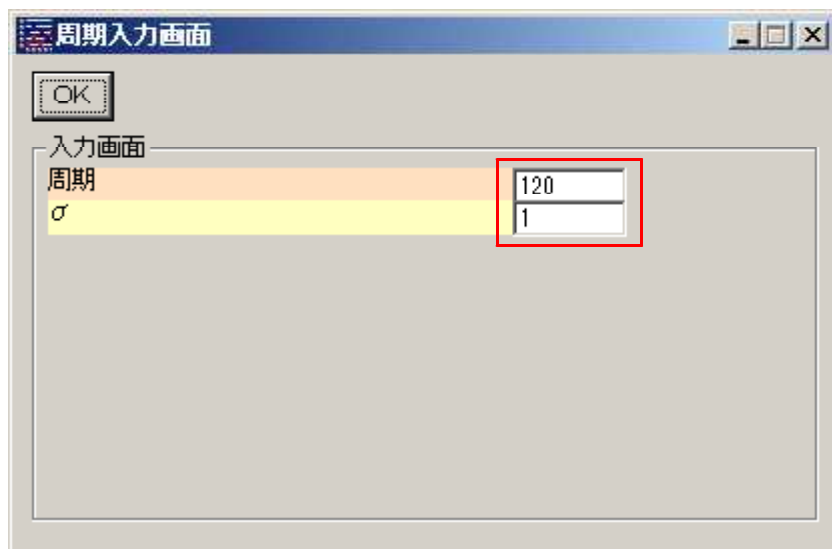
右肩上がり・・・上昇傾向



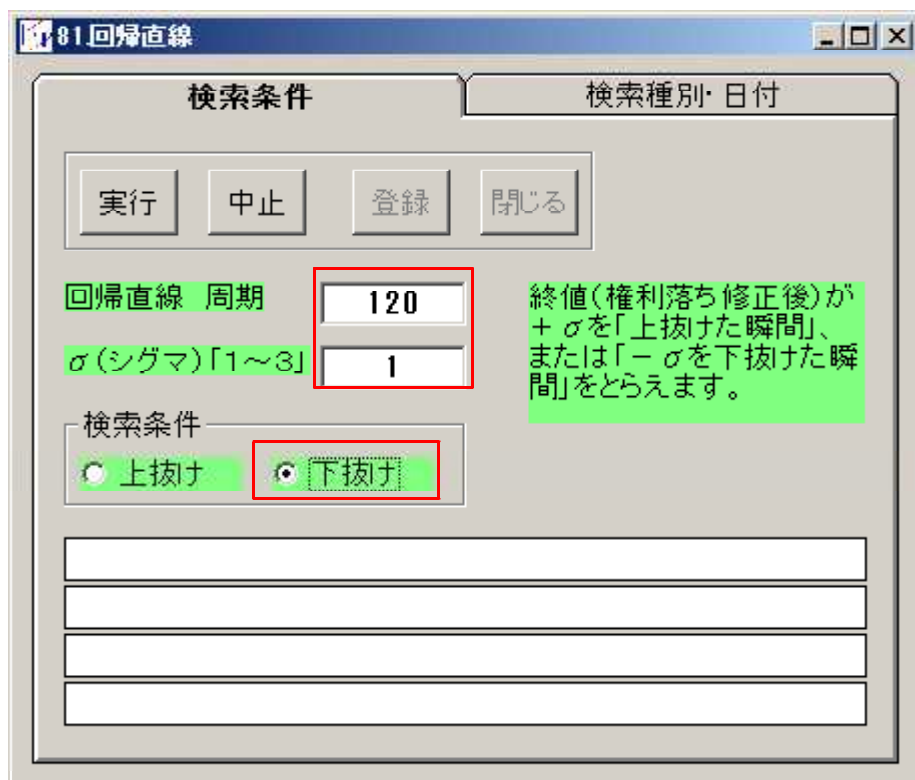
右肩下がり・・・下降傾向



前ページは日足で期間「120」日、「1」シグマのラインを引いたものです。

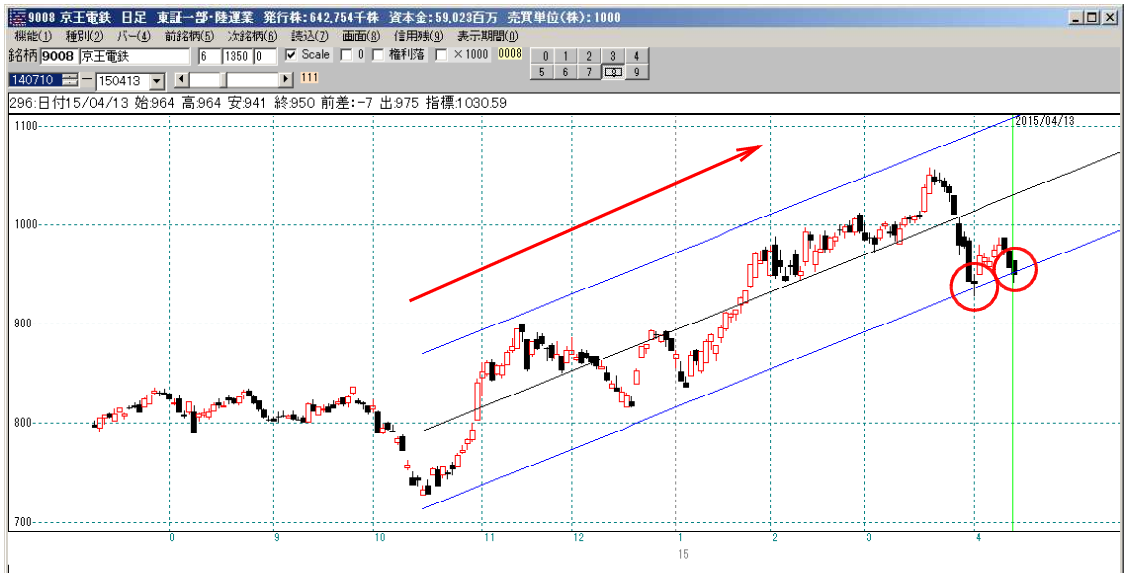


「絞り込み検索」の「81. 回帰直線」では、株価がシグマのラインを上抜けたか、または下抜けたかをスクリーニング出来ます。



この例だと、120日の回帰直線、1シグマラインを株価が下抜けた銘柄をスクリーニングしてくる、となります。

トレンドは、上昇傾向だが、ここで止まるかどうか。

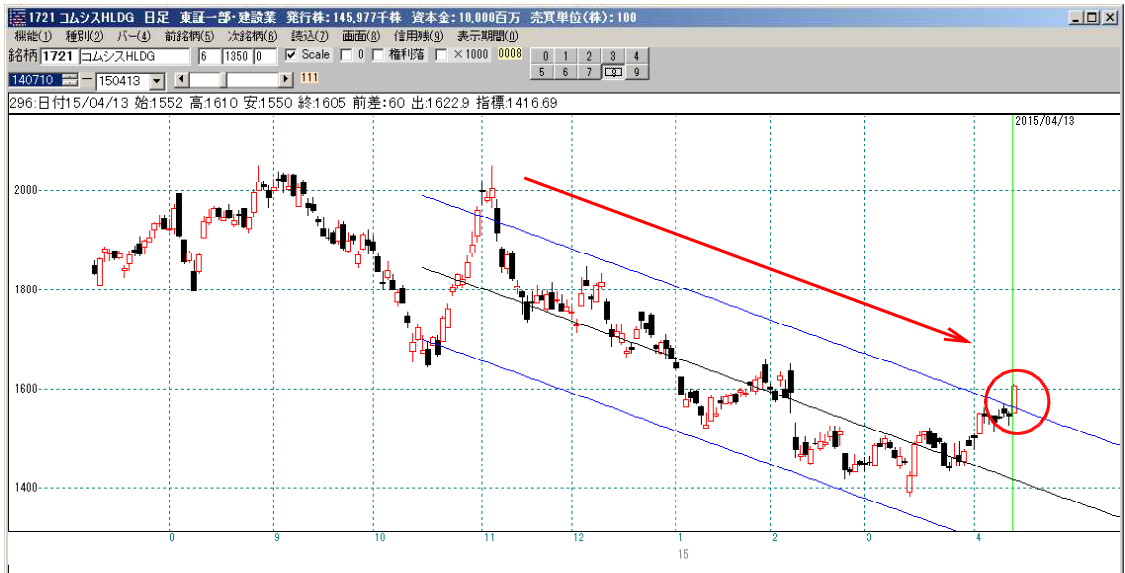


このまま上昇傾向が続くと仮定するなら、順張り派なら、真ん中の直線を越えてからでも遅くはないであろう。

逆張り派なら、丁度買い場である。

上抜けの場合

## 1 シグマを上抜け・・・トレンドの転換点か？



## 同じく1シグマを上抜け・・・目先の天井か？



このように、抜けたといっても様々にパターンが存在します。

この検索はユーザー様からの特注版として作成しました。その当時は、上抜けと下抜けだけが知りたいとのご要望でした。

例えば、真ん中のラインとシグマのラインの間にある銘柄、また右肩上がりの銘柄、といったスクリーニングは出来ません。

ユーザー様の中で、こうした条件があればいいのでは？というご意見がありましたら、ご連絡下さい。作り直していきたいと思っております。  
回帰直線の分析が好きな向きは、ご要望をあげてくださいませ。